

「景観回廊」とは？ 山形県景観条例に基づく景観を活用した地域づくりの取組み

- 道路や鉄道、河川に沿った一体の地域を、『景観』に関わる共通のテーマで結びつけたものを「景観回廊」と呼びます。
- 山形県内には素晴らしい景観資源が数多くありますが、まだ十分に活用されているとは言えずそれらが点在しているような状況になっています。
- そこで、共通のテーマにより景観資源や地域同士をつないで、連携した活動やPR等を行なっていくことで、人々の交流を活発化し、景観回廊の区域全体を元気にしていこうとする制度です。

◆進め方のイメージ◆

1

- ・多くの人に来てもらいたい。
- ・地域の魅力を生かした地域づくりをしたい。
- ・近隣の地域と一緒に取り組んだほうがより効果的なのは？

2

- ・地域同士を共通のテーマで結び、**景観回廊の区域**を設定。
- ・地域の活動団体、市町村及び県で「**景観回廊会議**」をつくり、地域おこしに向けた話し合い。
- ・地域の魅力や課題を共有。

3

- ・各地域の魅力を向上させる取組みや、各地域が連携して行なえる取組みの**活動計画**をたてる。
- ・計画に沿った活動の実施。
- ・地域活動の継続、担い手の育成。

- ・地域活動が円滑に進むように、行政（県・市町村）の各分野で組織する「**景観回廊支援チーム**」がアドバイス等を行なう。
- ・区域内の公共事業も、景観回廊の共通テーマを意識して進める。

- ・必要に応じて専門家（大学、旅行者等）とも連携していく。

景観回廊の区域【参考例】

共通テーマ「桜が見守る風景」

